

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

4回目の関税喰らい本気見せろよ (P2)

チーフカスタマーディーラー
井口慶一

今週のドル円予想レンジ **105.00 ~ 108.00**

りそなWEEKLY COLUMN

カラフルな丸いバッジとSDG s (P3)

埼玉りそな銀行 資金証券部
亀田 隆利

- 最近流行りのカラフルな丸いバッジの意味
- SDG s 債投資のメリットとデメリット
- 当社グループの取り組みと将来展望

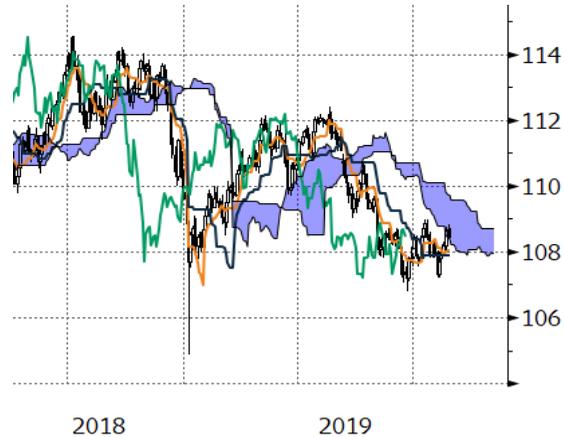
りそな外為レポート

4回目の関税喰らい本気見せろよ

今週のドル円予想レンジ **105.00 ~ 108.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表 (日足)



◆為替相場のすすめ

(米) 馬鹿ってんじゃないよ お前と俺は喧嘩もしたけど5月の会談では合意してたんだぜ 馬鹿ってんじゃないよ お前の輸入だけは一日たりとも忘れた事など無かった俺だぜ (中) よくいうわ いつも騙してばかりで 私が大豆を輸入しないとでも思っているのね (米) よくいうよ 輸入しなかったのお前だよ 他国の大豆が好きなら俺も考え直すぜ (中) 馬鹿ってんじゃないわ (米) 馬鹿ってんじゃないよ (中) 痛手を負うのが分からないなんて可哀想だわ (米) 4回目の関税喰らい本気見せろよ (中) 開き直るその態度が気に入らないのよ (米) 4回目の関税CRY本気見せてよ (中) ファーウェイ制裁撤回するまで輸入してあげない

「対中関税第4弾」の報道がネガティブサプライズとなり、市場の関心は金融政策から再び米中貿易戦争に逆戻り。株式市場は世界的に株安が連鎖し、米金利先物市場は連続利下げを織り込み始めた。今週のドル円は貿易摩擦関連の続報に留意しつつ上値の重い展開を見込む。
(チーフカスタマーディーラー 井口慶一)

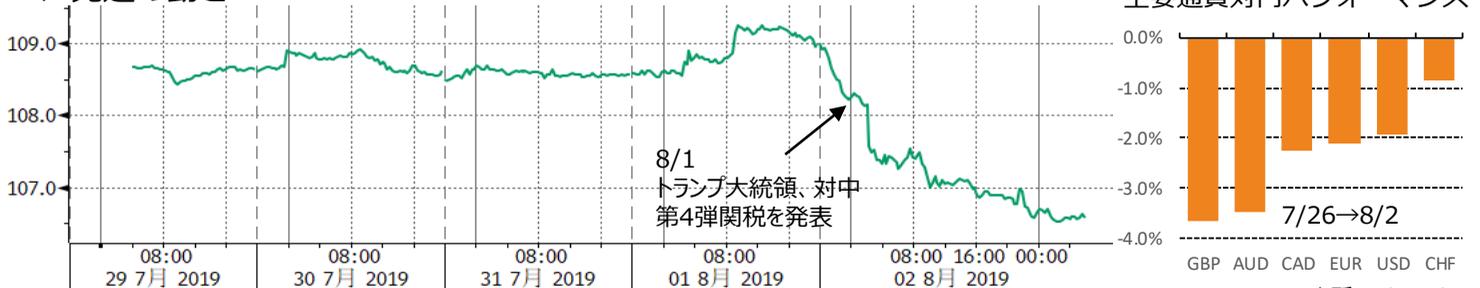
◆今週の日程

5日(月) 米 7月ISM非製造業	8日(木) 中 7月貿易統計
6日(火) 米 3年国債入札	8日(木) 米 30年国債入札
7日(水) 日 日銀「主な意見」7/29~30	9日(金) 日 19/2Q GDP次速報
7日(水) 米 10年国債入札	9日(金) 中 7月CPI・PPI
8日(木) 日 7月景気ウォッチャー調査	9日(金) 米 7月PPI

◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 26日(金) 106.59円 VS 9日(金)

東京										大阪			埼玉			
尾股	中根	湊	井口	鳥井	田中	関口	藏重	佐藤	松村	鈴木	武富	野瀬	小林	津田	石井	伊藤
↑	↑	休	↓	↓	↓	休	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↓	休	↑	↓

◆先週の動き



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

りそな WEEKLY COLUMN

カラフルな丸いバッジとSDG s

- 最近流行りのカラフルな丸いバッジの意味
- SDG s 債投資のメリットとデメリット
- 当社グループの取り組みと将来展望

埼玉りそな銀行 資金証券部 亀田 隆利

SDG s バッジの意味



皆さんは最近襟元にカラフルな丸いバッジを着けている人を見たことはないだろうか？電車で見かけるサラリーマン、テレビで見る政治家等が身に着けているあのバッジはSDG s バッジと言う。ちなみに当社社員も全員保有している。

SDG s とはSustainable Development Goalsの略であり、「持続可能な開発目標」のことを意味する。人類は近年、気候変動、資源の枯渇等、これまで経験しなかったような課題に直面している。このままでは世界で暮らしていくことが困難になるとの危機意識の高まりから、対応策として、2030年までに達成すべき17の目標が国連で採択された。バッジの17色はそれぞれの開発目標を表しており、例えば、赤は貧困をなくすこと、緑は気候変動の対策、ピンクは不平等を減らすことを示す。

SDG s バッジはこうした取り組みに積極的に取り組んでいる象徴となるが、特定の企業のみが実施すればすむ問題ではない。SDG s の目標は地球全体の課題であり、みんなで力を合わせなければ、解決できないものである。企業にとってもSDG s への取り組みは多くのメリットがあり、イノベーションの機会や新たなビジネスチャンスの創出のほか、SDGsを意識した資金調達には社会へのアピールとなる。

具体的な企業の取り組みとして、『SDG s 債』を紹介したい。『SDG s 債』は、国内市場におけるSDG s に貢献する事業に充当される債券の総称である。例えば、グリーンボンド（環境債：環境改善効果のある事業への資金調達）やソーシャルボンド（社会貢献債：発展途上国へのインフラ支援等の社会貢献に資する資金調達）。また、双方を組み合わせたサステナビリティボンド（環境・社会貢献債）が挙げられる。

『SDGs債』とは



債券市場全体からみたら小さいが、グリーンボンドの世界での起債額が年初来で1,000億ドルを超えるなど今後も拡大が予想されており、債券市場でもSDG s 債投資の動きが着実に広がりつつある。環境省のグリーンボンド発行促進プラットフォームによると国内企業などによる2018年のグリーンボンドとサステナビリティボンドなどの発行額は6,308億円と2017年（3,323億円）に比べ大きく増えている。

りそな WEEKLY COLUMN

SDG s 債発行のメリット・デメリット

SDG s 債を発行するメリットは、従来の債券と比較してSDG s に関心の高い新たな投資家を呼び込むことができる可能性があることや、発行体・投資家ともに環境対策や社会貢献を重視している姿勢を外部にアピールする機会になることである。例えば環境省は、グリーンボンド発行モデル創出事業として選定された事例の情報発信をしており、発行体として選定されれば投資家へのアピールにつながる。又、発行体によっては、投資家だけでなく社内に対し自社のSDG s 施策を周知する狙いを含めて発行するケースもある。

デメリットは、第三者機関による認証や発行後の定期的な情報開示などが必要で、通常の社債などと比べて手続きに時間やコストがかかる点である。ただ、グリーンボンドに関しては、一定の要件を満たしているものに限り、環境省が外部評価取得にかかる費用やコンサルティングを受けるといった費用に対し補助金を出すことで発行の後押しをしている。

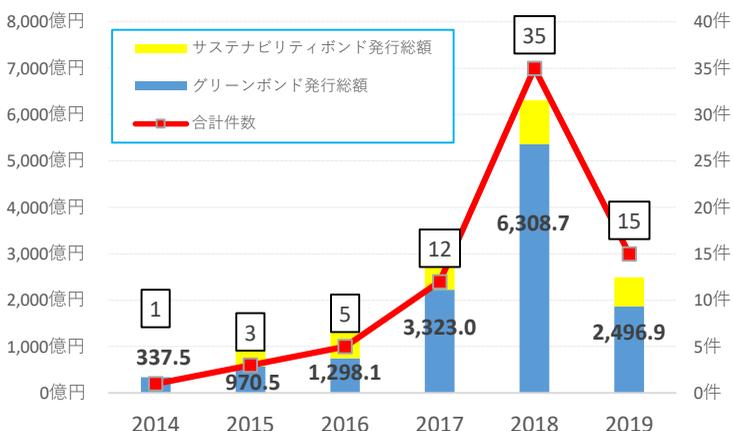
『SDG s 推進私募債』

しかしながらSDG s 債の発行は大企業に限られるためハードルが高い。そこで比較的ハードルの低い方法として、当社グループの商品では『SDGs推進私募債』の発行という手段がある。これはお客さまが、私募債を発行する際に、SDG s 関連団体10先の中から、お客さまが選定した先に、私募債発行金額の0.1%相当額をグループ各社が寄付を行うものである。お客さまの資金調達とSDGsに関する取り組み支援を同時に実現する仕組みと言える。

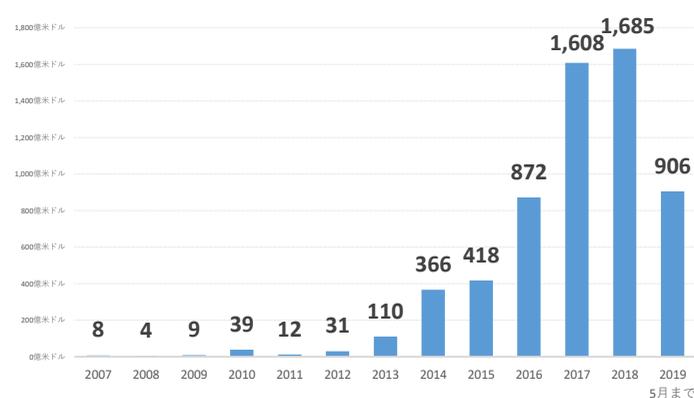
将来的には

将来的には、企業が存続するためにはSDG s に取り組むことが当たり前となり、「環境問題に取り組むことがなんでPRなの？ 当たり前のことなのに」みたいな話ができる世の中にしていかなければならない。

国内企業などによるグリーンボンドとサステナビリティボンドなどの発行実績



世界のグリーンボンド発行額の推移



出所：環境省のグリーンボンド発行促進プラットフォーム

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。